

感動体験!!

160人のコアユーザーのキャンピングカーライフ

【CHAPTER 3 : HOBBY】



# キャンピングカーがあれば、釣り、自転車などの趣味が異次元に突入

「自分の趣味を生かすための道具としてキャンピングカーを使う」

これも、昔からキャンピングカーの楽しみ方としてずっと定着してきたパターンである。

なにしろ、キャンピングカーというのは、自分の“家”をそのまま戸外に持ち出すようなもの。

釣り、野鳥観察、星座観察、登山の前線基地などアウトドアライフを満喫するような使い方にはもってこいのツールになる。

では、キャンピングカーユーザーは、どのような趣味を満たすために、どういう使い方をしているのか。

アンケートに寄せられた回答をヒップアップしながら、キャンピングカーを「趣味」という観点から見つめ直してみる。





## キャンピングカーは趣味を追求する“ベースキャンプ地”

キャンピングカーは趣味を実現させる道具、として語る人たちの特徴が一つある。それは「ベース」という言葉で、自分のキャンピングカーを語ることである。

「趣味の鮎釣りを楽しむためのベース基地としてキャンピングカーを使用。車中で火気の使用ができる構造になっているので、大変助かる」(60代男性・バンコンユーチャー)。

「自分の行きたい場所にキャンピングトレーラーを停め、そこをベース基地として山歩き、温泉めぐりなどを楽しんでいる。キャンピングトレーラーの良いところは、キャンプ場などにトレーラーを停めたあと、ヘッドだけで

自由に動き回れることだ」(30代男性・キャンピングトレーラーユーザー)。

「主に、登山のときのベースに使用。普通の観光地をめぐるときは、趣味の寺社仏閣めぐりの起点として活用」(50代男性・キャンピングトレーラーユーザー)

さらに、もうひとつ例を見てみよう。

「釣り、キャンプなど旅好きの人間にとっては、キャンピングカーは行動範囲を広げるもってこいの移動基地。仕事が忙しくて出かけられなくても、駐車場のキャンカーを見てイメージトレーニングを楽しんでいる」(50代男性・キャブコンユーチャー)

## 釣りの楽しみ方をガラッと変えたキャンピングカー



このように、趣味を持つ人の多くが、自分のキャンピングカーを「ベース基地」として使っていることが調査から伝わってくる。

では、実際には、どのような趣味が多いのだろうか。

「釣りに行っても、キャンピングカーなら車内でゆっくり寝られる」(50代男性・バンコンユーチャー)

「趣味の釣りをするために、今まで軽自動車で車中泊をしていたが、冬は防寒着を着たまま寝袋にくるまでも、寒くて目が覚めることが多かった

た。だからキャンピングカーを買ってほんとうに良かったと思う」(50代男性・キャブコンユーチャー)

「釣りをしながら温泉に入るのが我が家旅のスタイル。そのため、1BOXカーの時代は、トイレが近くにある場所に車を止めることができた。しかし、キャブコンを購入してからは、場所を選ばず釣りができるようになった。車内にトイレがあっても臭いや後処理はまったく問題がない。トイレは我が家なくてはならない装備品」(60代男性・キャブコンユーチャー)

## 登山・ハイキングのための前線基地

このように、「釣り」を趣味としている人が回答者の中では最も多く、18種類ピックアップされた趣味のなかではトップだった。

2番目に多かったのは、「登山・山歩き」だった。

「キャンピングカーを使って前日に登山口近くまで行って、その晩は車中泊。翌日の早朝から登山を開始し、午後はゆっくりと温泉に浸かってから昼食を楽しむ。キャンピングカーなしでは体験できない旅のスタイルだと思っている」(50代男性・バンコンユーチャー)

「山歩きや高山植物を見たりする自然観察が自分の趣味。そのためキャンピングカーで夜に発ち、現地近くの車内で睡眠。現地では朝一から行動する。時間を気にせず、宿の心配がないのでとても楽。天気次第で出発や中止

が前日に決められるのもキャンピングカーのメリット」(60代男性・キャブコンユーチャー)。

それ以外のアウトドア派のレポートには、こういうものもあった。

「キャンピングカーは野生動物を観察するのに使っている。食事・トイレ・仮眠がすべて車内でできるので、自然のなかに長くいても困ることがない」(40代男性・バンコンユーチャー)



## 自動車レース参戦時に威力を發揮



このほかカヌー、自転車などの趣味を挙げた人もあり、キャンピングカーはさまざまな趣味に利用できることが実証された形となった。

変わったところでは、レースの前線基地として使うという例も。

「趣味で自動車レースに参戦している。これまで、レース前日にサーキ

ット近郊の宿を取っていたが、そういうところはなかなか予約が取りにくく、30~40km離れたビジネスホテルに宿泊することもあった。しかし、車をキャンピングカーに変えてからは、レース場近くで車中泊をすることができるようになり、心身ともに負担が減った」(40代男性・バンコンユーチャー)



## 自然のなかで好きな音楽を聞きながら、酒を飲む

そのほか、キャンピングカーは、次のような趣味を楽しんでいる人たちも満足させている。

「大好きな広島カープの遠征に同行するときの基地」(50代男性・キャブコンユーチャー)

「(自分の家では大音量で音楽が聞けないので)、キャンピングカーで自然

のなかに行き、そこで音楽を聞きながら、酒を飲む」(60代男性・キャンピングトレーラーユーザー)

「趣味のスキーを楽しむのに格好のアイテム。スキー場の宿を取る手間が省けるようになった。またキャンプ場でキャンプするときも、テントの設営・撤収に比べて、寝泊まりが楽になった」(40代男性・キャブコンユーチャー)

# キャンピングカーで時間に拘束されないハッピーライフ

## フレキシビリティに富んだ旅行計画が簡単に実現

キャンピングカー旅行の最大の特徴は何か？

それに対する回答として、多くのユーザーが挙げたのは、「フレキシビリティ（柔軟性）」に富んだ旅が可能になるというものであった。

その代表的なものとして、次のような報告を挙げてもいいだろう。

「いつでも、旅に出たいと思ったときに出発できる。宿泊施設の予約も必要ないので自由な旅ができる」（60代男性・バンコンユーザー）。

「キャンピングカーによって、宿の予約する必要がなくなり、天候によって予定を柔軟に変えられるようになった。ペットを気軽に連れて行けるの

で、旅行の回数も増え、前よりもかなり行動範囲が広がった」（50代男性・キャブコンユーザー）。

「キャンピングカー旅行は臨機応変に対応できることが特徴。たとえば海に行く計画を立てていたが、当日雨の予報が出たので、目的地を急遽山に変えることも可能。山に紅葉を見に行く計画を立てていたが、今年は紅葉が終わるのが早かったなどというニュースが流れれば、目的地をすぐに温泉に切り替えることも簡単」（50代男性・キャブコンユーザー）。

## 不意に休みが実現したら、移動しながら旅の計画を立てる

旅行を楽しいものにするかどうかは、当日の天候にかかっている場合も多い。

あらかじめ日程が定まっており、しかも宿泊場所の予約が決まっている場合は雨でも雪でも、とにかく悪天候でも現地に向かうか、あるいはドタキャンするしかない。

しかし、宿の予約などを必要としないキャンピングカーは、かなり臨機応変な旅を可能してくれる。

そのような例のひとつが、次のようなもの。

「7年間、毎年夏に3～4週間キャンピングカーで北海道旅行をしているが、とにかく宿の心配をしなくても良いのが一番。また、天気予報を見なが

ら行き先を決めたり、計画変更ができるのがキャンピングカーの良いところ」（60代男性・キャブコンユーザー）。

「キャンピングカー旅行は、天候によって予定を柔軟に変えられる。宿の予約を必要とする旅はこういう気楽さがない」（50代男性・キャブコンユーザー）。

「自分は自営業者のため、長期連休や計画的な休暇を取りにくい。しかも、ペットもいるので宿の予約も取れないことが多い。しかし、キャンピングカーのおかげで、休みが突然実現したときは、日程に合う目的地を急遽探しし、走り出してから旅の計画を立て、とりあえず道の駅やRVパークで宿泊して、旅の体裁を整える。ほんとうにキャンピングカーを購入して良かった」（50代男性・キャブコンユーザー）。



感動体験!!

## 160人のコアユーザーの キャンピングカーライフ 【CHAPTER 4 : HAPPY LIFE】

### 時間に制約されない旅は、高齢者にも優しい

「時間に制約されない」、「チェックインなどの時間に縛られない」、「スケジュールに拘束されない」などという言葉が並ぶキャンピングカー旅行。そのような特徴は、また高齢者や身体障害者の生活ペースに合わせた旅行を可能にすることも意味する。

ある60代男性のキャブコンユースターは、こう語る。

「高齢の父母といろんなところへ旅行できたことがキャンピングカーのメリットだった。こういう旅は、公共交通機関や旅館を利用する旅ではとても無理。両親の体調を見ながら臨機応変に予定が変えることのできたキャンピングカー旅行だからこそ、楽しい思い出ができた」

このように、予定に縛られない旅行を可能にしたキャンピングカーは、地方の気に入った場所を見つけたときは長期滞在をすることもできるため、現地の人々との思わぬ楽しい交流を実現することもある。

70代でキャンピングカー旅行を楽しむ男性は、こういう。

「よその土地へ行って、スーパーや産直市場などで地元特有の食材を購入することが楽しみ。そして、レジの人や買い物をしている地元の人に、その食材の料理方法を尋ねることが楽しい。そのときに“うちでは、こうやって食べているよ”などという情報を得たときが最高。キャンピングカーは、地元の人たちの会話とその地方特有の食材を楽しませてくれる」

### 人と人との交流を促すキャンピングカー

また、人との交流を楽しい思い出としてレポートしてくるユーザーもけっこう多く、それらは、キャンピングカーが人間同士の思わぬコミュニケーションツールとなっていることを物語っている。

50代のバスコンユースターの男性は、次のようなレポートを寄せてきた。

「キャンピングカーを通じて、同じ趣味を持った多くの友人と知り合えたこと。またその中で、一生お付き合いできる友人と知り合えたことは、人生で大きな宝物となった」

このように、キャンピングカーを持つことによって、家族以外の友だちを得られたことが「一番良かったこと」に挙げた人の数は、アンケート回答者のうち5人。それぞれ「仲間が増えた」、「友だちが増えた」、「知り合いが増えた」などという表現でレポートしてきている。



Photo by iwata kazunari